

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2013年5月16日～22日)

平成 25 年(2013 年)5 月 24 日

H E A D L I N E S

政治

最大野党「法と正義」(PiS), 世論調査で最も高い支持率を獲得
 V4+東方パートナーシップ諸国外相会合
 シェモニャク国防相が中国を訪問

経済

政府が労働法改正法案を承認
 IMFはGDP成長率を1.2%と予測
 賃金は上昇, 新規雇用には躊躇
 4月の鉱工業生産は上昇
 3機目のドリームライナーが納入される
 酒とタバコの輸出が伸びる
 ライアンエアー, テルアビブ・クラクフ便を計画
 LOTの経営が改善
 ポーランド・中国間の定期貨物列車が運行開始
 V4で最も悲観的なポーランドの建設業界
 ポーランドのチョコレート生産が拡大
 家電製品部門が成長を継続
 中国企業がポーランドのベアリング製造企業を買収
 PERN社が Transneft 社との契約を5年間延長
 政府は発電所等から水利用料を徴収することを検討中
 コジェニツェの新規石炭火力発電ユニットの建設に係る環境許認可に環境団体が異議申立

大使館からのお知らせ

クラコフにおける領事出張サービスについて
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先:大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政	治
内	政

最大野党「法と正義」(PiS)、世論調査で最も高い支持率を獲得【19日】

19日に発表された世論調査機関CBOSによる政党支持に関する世論調査において、PiSは、26%の支持率を獲得し、23%にとどまった与党「市民プラッ

トフォーム」(PO)を2007年以降初めて上回った。22日、トスク首相は最近のPOの支持率低下の理由の1つは、党首選挙を前にした党内情勢にあり、党内情勢の安定化に向けた提案を行う旨述べた。

外	交
---	---

V4+東方パートナーシップ諸国外相会合【17日】

17日、V4+東方パートナーシップ諸国外相会合がクラクフで開催され、11月にリトアニアで開催予定の第3回東方パートナーシップ首脳会合の見通し、東方パートナーシップ諸国に対する支援等について協議した。

シェモニャク国防相が中国を訪問【22日】

22日から24日の予定で中国を訪問中のシェモニャク国防相は、22日、第6機甲師団を視察。23日以降、中国国防部長と会談し両国間防衛協力を中心に協議する他、国防大学等を訪問する予定。

経	済
---	---

経済・財政政策

政府が労働法改正法案を承認【22日】

ポーランド政府は、経済危機対策の一環として、雇用ルールにより柔軟性を持たせるための労働法改正法案を承認した。同法案によれば、当該企業の収益が15%以上減り、かつ倒産の危機に瀕していない場合、需要の不足による生産活動休止期間中6カ月以内に限り、労働者は少なくとも最低賃金レベルの給与を従業員給付保証基金から受け取ることが可能となる他、生産水準を調整するために勤務時間及び給与の削減を雇用契約の変更な

しに実施することが可能となる。なお、同制度利用企業は、社会保険や労働基金への寄付を延滞して行う必要があり、援助を申請する際には返済計画を提案する。フレックスタイム制を採用することを可能とするために、最大の会計期間(the maximum accounting period)は4か月から12カ月に延長される。財務省はこれらの労働法改正を実施するために本年の政府予算から5億ズロチを支出することになると試算している。

マクロ経済動向・統計

IMFはGDP成長率を1.2%と予測【16日】

IMFの最新の経済観測では、2013年のGDP成長率は1.2%、2014年は2.2%と予測されている。ただし、この数値については長引く欧州の不況の回復度、国内在庫の積み増し及び金融緩和政策の影響により修正され得ると補足している。

好転した際に、同様に優秀な人材を確保することが難しいと見て、人員以外の部分でコストを削減している結果と考えられる。

賃金は上昇、新規雇用には躊躇【20日】

中央統計局(GUS)によれば、4月は民間部門では前年同月比1%減となる548万人が雇用されているが、平均賃金は3,830.89ズロチで前年同月比3%増となっている。この数値は専門家の予想した同2.1%増より大きく、各企業は景気が

4月の鉱工業生産は上昇【21日】

中央統計局(GUS)によれば、4月の鉱工業生産は前年同月比で3月の2.3%減から大きく上昇する2.7%増となった。前月比では2.3%減。季節調整後の数値は前年同月比0.3%減、前月比0.8%増。建設部門は前年同月比で3月の18.5%減から更に悪化した23.1%減となり、引き続き低調。

ポーランド産業動向

3機目のドリームライナーが納入される【17日】

ポーランド航空(LOT)にとって3機目となるボー

イング787型機「ドリームライナー」がシアトルの工場からワルシャワ空港に到着した。4機目は7月、5機目は8月に納入される予定で、LOTは6月5日からワルシャワ・シカゴ便を同機材で運航することを予定している。

酒とタバコの輸出が伸びる【20日】

2012年のポーランド産タバコと酒の輸出は、前年比9%増となる2,560億ユーロとなった。米国向け高級酒の輸出の伸びが目覚しく23.3%増。また、ウォッカの海外販売も前年比6%増となる約1億4千万ユーロとなっている。タバコ製品の輸出も前年比12%増となる145億ユーロとなっている。

ライアンエアー、テルアビブ・クラクフ便を計画【21日】

格安航空会社ライアンエアーは、イスラエルと中欧間の新規路線開設を検討しており、イスラエル人の多くが修学旅行等でアウシュビッツを訪問するため、特にテルアビブ・クラクフ便が収益が上がると思っている。同社は現在ボーイング社に175機材を新規発注しており、当該路線については2014年初めの就航を計画している。

LOTの経営が改善【21日】

ポーランド航空(LOT)の第1四半期の経常利益は、関係者による非公式な情報ながらも、赤字ながらも再建計画より3千万ズロチ増としている。なお、同社は2012年の純損失を計画より5千万ズロチ多い2億ズロチ超と発表している。経営状況が改善された背景には、利用者数の増加等、航空産業に対する見通しが肯定的になったからとの見方が強い。

ポーランド・中国間の定期貨物列車が運行開始【21日】

ポーランドのウッジ市と中国の成都市間を結ぶ定期貨物列車が正式に運行を開始した。定期列車はカザフスタン、ロシア、ベラルーシを経由する両都市間1万キロの行程を14日未満で到達し、従来、中国からのコンテナ輸送は最大45日要する海路か、今回運行が開始された貨物列車の数倍費用がかかる空路の選択肢しかなかったが、貨物列車の運行開始により両国間の物流が活性化すると見られている。

V4で最も悲観的なポーランドの建設業界【22日】

最新の調査によると2013年のポーランドにおける建設業の生産予想は前年比で3月の調査の4.3%減を下回る11%減となる模様。この数値は他

のV4諸国であるチェコの同4.4%減、スロバキアの同4.6%減、ハンガリーの同2.2%減と比較しはるかに悲観的な予想となっている。ポーランドの建設業界が悪化しているとの回答は、1年前は55%であったのに対し、現在は80%に増加しており、実際、業界全体の生産能力の60%しか稼動していない。新規受注に対する競争は今後も激しくなると見られており、30%の企業は存続のため収益が出ない若しくは赤字となる事業を受注すると予想されている。

ポーランドのチョコレート生産が拡大【22日】

本年第1四半期のポーランドのチョコ菓子生産量は前年比6.5%拡大した。最大の要因は輸出の増加である。ポーランドのチョコ菓子販売の約7割が輸出によるものとなっている。2012年の輸出については、額で8.6億ズロチ、量で21.9万トンであったが、2011年はそれぞれ7.9億ズロチ、19.5万トンであった。専門家によれば、Mars Polska社、Lotte Wedel社、Ferrero Polska社、Mondelez Polska(旧Kraft Foods Polska)社といった国際的な大企業のポーランド子会社が輸出増大に大きく貢献しているとのことである。多くの場合、これらの企業はポーランドの生産者を買収し、他国からポーランドへと製造機能を移転させている。ポーランドのチョコ菓子生産量の約75%はこれら企業によるものである。

家電製品部門が成長を継続【22日】

家電製品の業界団体(CECED Polska)の調査によれば、本年第1四半期のポーランドにおける家電製品の生産量は前年同期比15%拡大し、494万ユニットだった。大型家電は同11%増の344万ユニット、小型家電は同25%増の150万ユニットだった。冷凍・冷蔵庫の生産が最も増加し、同45%増の63.1万ユニットだった。2番目に成長したのはブレンダー／ミキサー／フード・プロセッサー・セグメントで、同30%拡大し、128万ユニットだった。一方、成長は月毎に減速傾向を示しており、各社は先行きを懸念している。欧州の大半の国々で販売が落ちている一方で、東側、とりわけロシア及びウクライナは比較的良い状況となっている。

中国企業がポーランドのベアリング製造企業を買収【20日】

ポーランド産業開発庁（ARP）は中国のXiangyang自動車ベアリング（「X」社）とFLT Krasnik社（「F」社）の売却契約に署名した。「X」社はARPが所有していた「F」社の89.15%の株式を取得する。買収金額は約3億ズロチと言われており、本件は中国企業による対ポーランド投資の最大級の

案件となる。「X」社は今後生産量を拡大することを計画しているが、雇用者数を拡大するかどうかは不明。「F」社は1,600万基のベアリングを製造す

る能力を有し、2012年に2.65億ズロチの収入、260万ズロチの利益、1,900人以上の雇用者を確保している。

エネルギー・環境**PERN社が Transneft 社との契約を5年間延長【20日】**

ポーランドの石油パイプライン・オペレーターのPERN社は、ロシアの石油グループ Transneft 社との合意を延長した。原契約は2009年に署名されており、今回の合意は当該契約を5年間延期し、ドゥルジバ・パイプラインを通じた安全及び継続的な石油の輸送を確保する。PERN社と Transneft 社はドゥルジバ・パイプライン最大のオペレーターで、原油をロシアからポーランド及びドイツへと輸送している。

人的には1㎡当たり数グロシュ程度のもと考えているが、発電設備容量に応じて利用料を設定する方が公正であるとの提案も受けていると発言している。

コジェニツェの新規石炭火力発電ユニットの建設に係る環境許認可に環境団体が異議申立【20日】

オフィシエンチムの非政府組織「Association for Earth」は地方の異議申立機関にコジェニツェの新規石炭火力発電ユニットの建設に係る環境決定の取り消しを申し立てた。手続きは7月中旬に開始される。当該組織は、環境決定は土壌への影響が評価されておらず、全ての必要事項が遵守されずに社会的協議が行われたため無効であると主張している。エネア社のルドウヴィチャク代表は、環境決定を獲得するために必要な全ての要求を遵守しており、敗訴するとは考えていないと発言している。書類の訂正を行った場合、建設は遅延することになる。

政府は発電所等から水利利用料を徴収することを検討中【20日】

ポーランドの新水法がエネルギー部門に影響するとガヴウォフスキ環境副大臣はPAP紙に述べた。新法は、EUの水枠組指令を実施するためのもので、エネルギー産業を含む全ての水利用企業が利用料を払うことになる。同副大臣は、利用料は、個

その他**労働組合が不人気【16日】**

CBOS社による最近の世論調査によれば、ポーランド人の労働組合への加入率は90年代以来最低で、組合で活動している労働者の割合は僅か5%となっている。回答者の1/3は職場に労働組合が存在すると回答しているが、組合は労働状況の改善に効果を発揮していないとの回答の割合は

76%、組合の活動は労働者の権利保護に非効率であるとの回答の割合も2/3に達している。一方で、回答者の45%は労働組合の活動をポジティブであると評価、32%がそうではないと回答している。政治的決定における組合の影響力については非常に小さいとの回答が61%、非常に大きいとの回答は8%であった。

大使館からのお知らせ**クラコフにおける領事出張サービスについて**

大使館は、5月25日（土）10時から13時までの間、QUBUS HOTEL (Nadwislanska 6, 30-527, Krakow) において、領事出張サービスを実施します。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20130525.html

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成26年3月31日（月）までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【予定】「Silence of the Body」第5回国際マイムアート講習会【5月25日(土)~28日(火)】

ワルシャワにて、パントマイムアーティストのステファン・ニジャウコフスキ氏主催による第5回国際マイムアート講習会が開催されます。ワルシャワ在名の児真順子氏による上演をはじめ、日本を含め世界各国からのアーティストによる講習会及び講演会が行われます。詳細はこちらです：<http://mimearttheatre.pl>

問い合わせ先：info@mimearttheatre.pl

開催場所：IMKA 劇場（住所：M. Konopnickiej 6, Warszawa, 電話：22 339 05 21, ホームページ：<http://www.teatr-imka.pl/>）

【予定】「日本祭り」日本文化フェスティバル【6月1日(土)】

タルノフスキエ・グリにて、タルノフスキエ・グリ文化センター主催による、「日本祭り」日本文化フェスティバルが開催されます。日本武道のデモンストレーション、茶道、よさこい踊り、折り紙、日本に関する展示の他、様々なイベントが予定されています。

問い合わせ先・開催場所：タルノフスキエ・グリ文化センター（住所：Sobieskiego 7, 42-600 Tarnowskie Góry, 電話：+48 32 285 27 34, Eメール：biuro@tck.net.pl, ホームページ：<http://www.tck.net.pl/>）

【予定】「第14回ポーランド・ジュニア剣道選手権大会・第9回ポーランド青少年剣道選手権大会」【6月1日(土)】

ビドゴシチ市にて、ビドゴシチ剣道・居合道・杖道協会主催による、第14回ポーランド・ジュニア剣道選手権大会・第9回ポーランド青少年剣道選手権大会が開催されます。剣道の試合の他、青少年向けの絵画と写真コンテストも予定されています。

問い合わせ先：ビドゴシチ市剣道・居合道・杖道協会主催（住所：Kasztanowa 43/21, Bydgoszcz, Eメール：kendo@kendo.bydgoszcz.pl, ホームページ：<http://www.kendo.bydgoszcz.pl/>）

開催場所：Hala Sportowa ZS nr 16（住所：Koronowska 74, Bydgoszcz）

【予定】「日本祭り」【6月8日(土)12:00~19:30】

在ポーランド日本国大使館、商工会及び日本人会共催の総合日本文化紹介イベント「第1回日本祭り～Matsuri Piknik z Kulturą Japońską」が開催されます。日本食販売コーナーや日本文化紹介ブース(ヨーヨー、輪投げ、書道、着付け、茶道等)、よさこいソーランや和太鼓、J-POP、琉球三味線、コスプレ等のステージパフォーマンス、盆踊りなど日本のお祭りを再現したイベントです。入場無料。ぜひ、ご来場ください。

詳細はこちらです：<https://www.facebook.com/Matsuri2013>

開催場所：ワルシャワ・アグリコラ公園(Park Agrykola)

【予定】柔道 Funai Solanin Cup 2013【6月8日(土)~9日(日)】

ノヴァ・スル市にて、「オリンピ」学生柔道クラブ主催による、Funai Solanin Cup 2013 柔道選手権大会が開催されます。ポーランド、ドイツ、ウクライナ等から約200名の選手が参加する予定です。

問い合わせ先：「オリンピ」学生柔道クラブ（ホームページ：<http://olimp.wnowejsoli.eu/>）

開催場所：Park Krasnala（住所：AL. Wolnosci 11, Nowa Sol）

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

（ご連絡は電子メールでお願いします。）